

中日古典学ワークショッププログラム

(中日古典学工作坊日程表)

主催：早稲田大学総合研究機構日本古典籍研究所

スーパーグローバル大学創成支援事業 国際日本学拠点 (Global Japanese Studies Model Unit, Waseda University Top Global University Project (MEXT))

北京大学人文学部

北京大学中国語文学系

共催：早稲田大学総合人文科学研究センター角田柳作記念国際日本学研究所

日本学術振興会科学研究費助成事業「グローバルな視野からみる和漢の「文」と日本古典籍をめぐる学術文化史研究」(20K00303) 基盤研究(C) (一般)

日時：2022年11月12日(土) 9時50分～17時25分(日本時間)

11月13日(日) 9時30分～12時45分(日本時間)

場所：早稲田大学戸山キャンパス(オンライン (Zoom))

統一テーマ：中日古典学の交流と融合(中日古典学的交流与融通)

小テーマ：典籍文献研究(中日類書、類聚、事典、爾雅類典籍)

◎タイムテーブル

2022年11月12日(土) ※表示は日本時間

9時50分 開幕式(司会：陣野英則) [通訳 伊丹]

開会挨拶 河野貴美子、杜曉勤 [通訳 伊丹]

10時00分～11時30分 第1組：類書と経史文献(類書与経史文献)

*発表は一人10～15分、全員の発表終了後討論を行う。

司会・討論：河野貴美子、杜曉勤 [通訳 崔鵬偉]

発表1：顧永新「《永樂大典》稱引《易》學文獻與《周易傳義大全》異同論一也論元明時期經學文獻兩大主幹系統的消長」 [通訳 馮辰鉞]

発表2：程蘇東「穗久邇文庫藏《五行大義》紙背注所見《太平御覽》引文考」 [通訳 馮辰鉞]

発表3：川尻秋生「日本古代の史書・法制書と「類聚」」 [通訳 龔凱歌]

発表4：田中史生「『類聚国史』の風俗部・殊俗部と対外認識」 [通訳 龔凱歌]

11時30分～11時40分 休憩

11 時 40 分～13 時 10 分 第 2 組：辞書と注釈（辞書及注釈）

司会・討論：吉原浩人、顧永新 [通訳 高薇]

発表 1：胡敕瑞「关于汉译佛典音译词的讨论—以慧琳《一切经音义》为例」[通訳 高薇]

発表 2：高松寿夫「智光『浄名玄論略述』の注釈言説」 [通訳 林宇]

発表 3：李林芳「原本《玉篇》殘卷的釋義與書證的類型和特點—兼論原本《玉篇》的性質」
[通訳 高薇]

発表 4：孫玉文「清代以来《尔雅》注释中通假字认定问题例商」[通訳 伊丹]

13 時 10 分～14 時 10 分 昼食・休憩

14 時 10 分～15 時 40 分 第 3 組：類書・辞書の編纂、出版（類書、辞書の編纂、出版）

司会・討論：高松寿夫、胡敕瑞 [通訳 林宇]

発表 1：笹原宏之「平安時代の漢字辞典における引用書と日本製漢字・日本製字義—『新撰字鏡』『和名類聚抄』の典拠を中心に—」[通訳 董小蛟]

発表 2：張学謙「《初學記》版本雜識」[通訳 林宇]

発表 3：河野貴美子「鎌倉期成立の金言成句集にみる「知」—『明文抄』を例として—」

発表 4：劉玉才「《幼學指南抄》徵引漢籍文獻史源考察」[通訳 長谷川隆一]

15 時 40 分～15 時 50 分 休憩

15 時 50 分～16 時 55 分 第 4 組：日本における類書の受容（在日本对類書的受容）

司会・討論：田中史生、孫玉文 [通訳 龔凱歌]

発表 1：杜曉勤「中国类書の東傳及其对奈良、平安朝文学創作之影响」[通訳 伊丹]

発表 2：吉原浩人「慶滋保胤の『白氏六帖』受容」[通訳 王薈媛]

発表 3：程夢稷「拟效、挪用与回应：从近世日用类书看“山海经图”在江户日本的流行」
[通訳 伊丹]

16 時 55 分～17 時 25 分 総合討論（自由討論） 司会：河野貴美子、杜曉勤

[通訳 崔鵬偉]

2022 年 11 月 13 日（日）青年論壇

9 時 30 分～10 時 25 分 第 1 組：類書と文学（類書与文学）

*発表は一人 10 分、全員の発表終了後討論を行う。

司会・討論：長谷川隆一、高樹偉 [通訳 朱一麦]

発表1：伊丹『『蒙求和歌』における「董奉活燮」について——類書『類林』『瑠玉集』との関係などを中心に——

発表2：王佳琪「《白氏六帖事类集》与白居易文学创作之关联」 [通訳 朱一麦]

発表3：田雨鑫「论《艺文类聚》《初学记》对诗体作品的删削改造」 [通訳 朱一麦]

発表4：崔鵬偉「百鬼夜行日解釈の再検討—『拾芥抄』を手がかりに—」

10時25分～11時20分 第2組：類書と語学、注釈（類書与語学、注釈）

司会・討論：崔鵬偉、王佳琪 [通訳 楊卓婧]

発表1：楊思思「音义与小学：晋宋之际文学变革的语言路径」 [通訳 伊丹]

発表2：山本早紀「音楽分野における「節」の字義と漢語」 [通訳 王詠心]

発表3：鄧子翔「《永樂大典》引《莊子》文本校理—兼論日鈔本系統《莊子注疏》の文本價值」 [通訳 楊卓婧]

発表4：王孫涵之「『詩義疏』考——『毛詩草木鳥獸虫魚疏』との関係を中心として」

11時20分～11時30分 休憩

11時30分～12時25分 第3組：類書の編纂、出版（類書的編纂、出版）

司会・討論：王孫涵之、楊思思 [通訳 王薈媛]

発表1：大谷万由子「『本朝月令』と『礼記』月令篇」 [通訳 龔凱歌]

発表2：長谷川隆一「『群書治要』の選集意図と具体的事例の検討——序文と『群書治要』引『潜夫論』を中心として——」 [通訳 董小蛟]

発表3：高樹偉「《永樂大典》纂修芻議」 [通訳 馮辰鉞]

発表4：張鶴天「和刻本《新编古今事类全书》編刻考略」 [通訳 馮辰鉞]

12時25分～12時35分 コメント（評議）

程蘇東、田中史生 [通訳 馮辰鉞、龔凱歌]

12時35分～12時45分 総括、閉幕式（司会：陣野英則） [通訳 馮辰鉞]

総括：劉玉才、高松寿夫 [通訳 崔鵬偉、林宇]